



あなたと議会をむすぶ

第110号

平成17年

11月1日

しばた議会だより



ゆつくり歩いて健康づくり

10月9日 柴田町ウォーキング大会(農村環境改善センターよりスタート)

CONTENTS

- 9月定例会 ・ どう使われたか町民の税金 2
- ・ 議会活性化のために(委員会設置) 9
- ・ 一般質問 10
- 常任委員会レポート 18
- あなたの一言 20

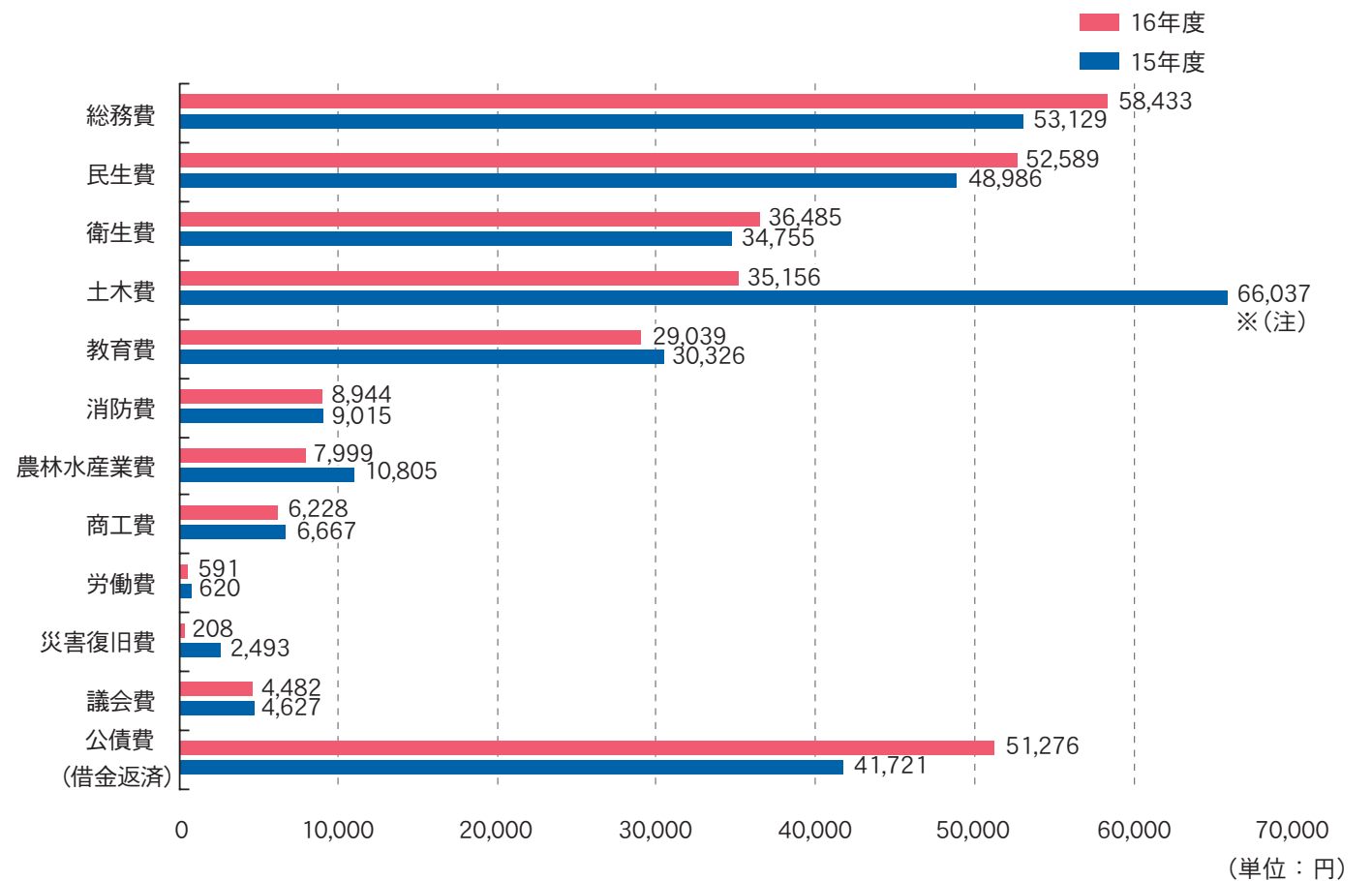
9月定例会

どう使われたか 町民の税金

16年度の歳出決算 総額224億円を認定

9月定例会は、9月2日(金)から15日(木)まで14日間の会期で開かれました。この定例会では、平成16年度の一般会計および各種特別会計歳入歳出決算の認定が求められ、総括質疑(4人)の後、決算審査特別委員会を設置して審議し、すべて原案どおり認定しました。一般会計は歳入115億2,622万円・歳出114億5,812万円、特別会計は歳入92億8,102万円・歳出90億5,874万円および水道事業会計は歳入15億9,837万円・歳出18億4,149万円。決算審査では、各種の滞納額や不用額の原因、教育福祉等について活発な質疑がありました。このほか、条例7件、17年度各種会計補正予算等を可決しました。また、28区船迫集会所駐車場等に関する陳情1件があり、委員会に付託しました。一般質問には12人の議員が立ち、町政の課題について活発な論議を展開しました。なお、本定例会では、議会活性化特別委員会の設置を決議しました。

町民一人あたりの決算額(一般会計)



問 新しい町づくりを目指して

太田研光議員 (1) 平成16年度の町の最大事業は3町合併であった。合併はできなかったが、審議や住民集会を通じ、多くの教訓や隣町との友好の難しさがわかった。今後教訓を踏まえた、新たな発展ある町づくりが必要ではないか。
(2) 不納欠損金が相変わらず多い。一般会計で2千814万円、国民健康保険

で2千504万円。滞納に対する徴収の努力が一層必要ではないか。
(3) 16年度の公債費は20億1千万円で、15年度の16億3千万円に比較して23%も増加している。その増加抑制に引き続き努力が必要ではないか。

答 当面は自立の道を選択

滝口町長 (1) 3町合併の協議は、地域の将来を自分たちのこととして考えるよい機会でした。国や県の動きからすれば、また新しい合併の流れが盛り上がりつつあると思いますが、当面自立の道を進んでいきたい。
(2) 不納欠損の理由は、未納税者が無財産、生活困窮、所在不明、倒産等によるものです。今後広域行政組合による滞納整

理にも期待しています。(3) 平成16年度公債費の中には、制度上避けられない借換債6億4千190万円があり、これを差し引くと、13億7千400万円余りとなり、15年度の公債費に比べ2億6千400万円程度少ない金額となります。今後も、公債費の抑制には努めてまいります。

総括質疑 ①



拡幅要望がある千間堀踏み切り(槻木地内)



徴収の努力を

問 合併破綻で四極構想の槻木の町づくりは

佐藤輝雄議員 今まで住民と議員は、槻木のインフラ整備と活性化を町に求めてきましたが進んでいません。今回も入間田20号線は、予算計上後にカットされたままであり、さらに、葉坂、富沢、四日市場、4号バイパスのアクセス道等の整備も遅れています。JR関係では、千間堀踏み切りの拡幅、村田街道踏み切りの

通行再開等も同様です。これらの整備も含めた槻木地区活性化の展望、また槻木丘陵地帯への工場誘致はどうですか。昨年11月立ち上げの町税等収納特別対策本部の実績と自己評価は。町道整備などでできた100m未満の町有地は積極的に売却すべきと思うが。

答 次の長期総合計画に盛り込む

滝口町長 成田、入間田、葉坂、富沢、四日市場など、各地域にはすばらしい文化と自然環境があり、市街地も含め地域の特徴あるバランスのとれた町づくりを進めます。提案された各道路は、基幹道路の位置づけのもとに優先順位を明確にし、次の長期総合計画に盛り込んでいきます。踏み切り拡幅は粘り強くJRと交渉します。

企業を引き付ける魅力とは、美しい都市環境があり、地域活動が活発で、創造的人材が育つ環境を作っていくことです。税の対策本部は情報の共有化をもって収納向上に努めます。来年は組織のフラット化も考えます。町有地も公正・公平な売却に努めます。

税金の使い方を審査しました

決算審査特別委員会

質疑 審議会委員への女性の登用率は、平成22年度までの目標値30%、平成16年度末29・6%。目標設定が甘かったのではないか。

答弁 計画策定時の実績22・3%を基準として、当時の判断で登用率を30%まで引き上げることが目標に設定されており、個別に偏りがあるので、今後偏りをなくしていくよう取り組みます。

委員会に女性登用の促進を

質疑 町では土地利用に関して「柴田町開発指導要綱」で1千m以上の開発に対し開発指導を実施しているが、適正な指導を行っているか。対象面積をもっと小さくする考えはないか。

答弁 本町の秩序ある土地利用の推進を目的として、適切に指導しています。対象面積は300m以上などの線引きも可能ですが、近隣でも例がなく現状が適正規模と判断しています。

土地開発指導は適正か

9月9日、決算審査特別委員会を開会し、平成16年度一般会計と特別会計および水道事業会計について審査を行い、原案のとおり認定し、13日に閉会しました。質疑の内容を一部紹介します。



IT創作プラザで研修(郷土館)

IT創作プラザの活用を

質疑 郷土館のIT創作プラザは住民に開放されていますが、施設が十分に利用されているか。利用する住民への支援をどう行ったか。もっと町民へのPRを強化して利用率を上げるべきではないか。

答弁 16年度の利用者は341人で頻繁に町民の方に利用されている状況ではないと認識しています。創作プラザ活用の目的は郷土資源の保存活動(デジタルアーカイブ化)、学芸面での映像素材の制作ポスター・チラシの作成等です。PRを活発に行うことで利用率を上げるようにしたいと思っています。



ゴミを捨てないように

ごみの不法投棄の現状は

質疑 各地でごみの不法投棄が問題になっているが、柴田町内で悪質な事件は発生していないか。もし発生した場合に町はどのように対応し、防止策にどう取り組むのか。

答弁 年に2件ぐらい発生しています。通報等により不法投棄が認められた場合は、投棄した人に指導や回収指示を行います。山林等の民有地へ投棄が多いので、そこへ入れないように対策をするなどの取り組みをお願いします。

若い世代が住み続けたい町へ

問 若い世代が住み続けたい町へ
白内恵美子議員 先が見えない時代こそ、未来へ希望を持ち、大地にしっかりと立ちまわらねばなりません。
(1) 平成16年度決算は、実質単年度収支が3億7千万円の赤字を計上し、財政調整基金を8億1千万円まで積み立てたことを評価します。平成18年度・19年度の見通しは。
(2) 若い世代が住み続け

たい町へ
たくなるまちづくりが必要で、子育て支援を充実し、安心して生み育てられる町にすべきです。
(3) 一人当たりのごみ排出量が多い現状です。住民と協働でごみ削減を。
(4) 子供たちの教育はより優先すべきです。今後の教育環境整備計画は、学力アップの上からも学校図書館の充実を。

子育て支援を充実させ魅力ある町に

答 子育て支援を充実させ魅力ある町に
滝口町長 (1) 三位一体改革、多額の負担金・特別会計繰出金・公債費等で町財政は硬直化、逼迫しています。19年度まで建設事業を全く行なわなくとも18年度に3億5千万円、19年度に2億9千万円の赤字となる状況です。
(2) 次世代育成支援地域行動計画に基づき子育て支援を充実させることに

より、若い世代が定住する魅力ある町になっていくものと考えます。
(3) 住民へ分別の協力を呼びかけるとともに、生ごみの堆肥化を積極的に奨励し減量化を推進したい。
(4) 教育施設は、本年度策定の新長期総合計画に位置づけ整備していきま

総括質疑 ②



子育て支援の充実を



ごみの減量化を

各種の不納欠損額をどうするのか

問 各種の不納欠損額をどうするのか
我妻弘国議員 町税、住宅使用料、国民健康保険税などの不納欠損額、収入未済額、医療費の増加が町財政に多大な悪影響を及ぼしています。
船岡保育所、むつみ学園建設が遅れており、少子化問題も地域全体の問題として考える必要があります。
小・中学校の学力低下が心配され、レベルアップ

あらゆる手段で歳入の確保を図ります

答 あらゆる手段で歳入の確保を図ります
滝口町長 歳入の確保は急務と考え、あらゆる手段で納税の促進を図ります。医療費の増加にはライフステージに対応した健康づくりが大事と考え、各種検診や高齢者の介護予防に取り組んでいきます。
子育てには、現在地域行動計画を作成しており、18年には船岡保育所建設を予定、この10月1日には子ども家庭課ができた

ので、子育てを支援していきます。
学力の低下には子供たちが楽しくわかる授業を目指すよう努めます。
葉坂西歩沢の水道敷設は18年1月、町道富沢11号線は平成20年までの完成予定です。

町施設の管理が変わります 指定管理者制度へ

地方自治法の一部改正により、公の施設の管理について公的団体に限定して委託することが可能だったこれまでの管理委託制度が廃止され、地方自治体が指定する指定管理者に管理を代行させる指定管理者制度が導入されました。町では、柴田町公の施設に係る指定管理者の指定手段等に関する条例を提案し、議会で関連5条例も含め原案どおり可決しました。

条例の内容

- 目的 指定管理者制度は、多様化する住民ニーズに、効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、行政のコストの削減を図る。
- 対象施設 町143施設のうち7種55施設が来年4月から導入。
- 規定 指定管理者の公募、指定の申請方法、選定手続（基準・選定委員会）、議会の議決、規定の取り消しおよび業務の停止命令、協定の締結、事業報告書の提出、損害賠償など。
- 関連条例 デイサービスセンター条例、太陽の村条例、農村公園条例、町駐車場条例、町自転車駐車場条例。

質疑 指定管理者が指定期間の途中で経営不振等で撤退するような場合、ペナルティー等はあるのか。

答弁 町は、指定管理者への指導監督、指定の取り消し、業務の停止命令ができます。

質疑 選定委員会のメンバーはどのように決めるのか。議会の議決事項は。

答弁 これから設置要綱を定め、助役をトップに担当課、特に必要と認めるときは学識経験者等も含めます。議決事項は、対象施設、指定業者の法人名等、事務所の所在地です。

質疑 それぞれの施設で、管理基準や業務の範囲が異なると思うが。

答弁 そのとおりです。それで今回の条例は共通した部分の手続き、指定手続きに関する条例です。



船岡駅南自転車駐車場

質疑 指定の基準について、町長等が公の施設の性質または設置目的に応じて別に基準を定めるとあるが、それはどのようなものか。

答弁 その施設ごとの特殊事情、性質から来る必要な基準を規則ということとでなく、町長が別に定めるということで、例えば公募の場合、公募要綱の中で明らかにする等と想定しています。

質疑 今回、附則の中で、情報公開条例と個人情報保護条例も改正したのはなぜか。

答弁 柴田町として、指定管理者制度の導入、そのための今回の手続き条例の制定において、管理者にも、個人情報保護や情報公開についての、必要な措置を講じる必要があるため。

町民にとって指定管理者制度とは

- (1) 開館時間の延長、休館日の変更、利用者の範囲拡大など、サービスの強化、拡大が望める。
- (2) 場合によっては利用料金の値下げもありうる。
- (3) サービス業者にとつては、事業参加の機会が拡大する。
- (4) 各施設への要望等が以前より反映されやすくなる。

防犯灯の修理は早急に

質疑 町内の防犯灯の球切れ、あるいは本体の破損等による修理にどの程度の費用がかかっているのか。

答弁 約2千700基の防犯灯があり、修理件数は306件、金額は約300万円です。古い防犯灯で灯柱が腐食して危険なものもあり、住民からの要求箇所も合わせてなるべく逐次直すよう努力しています。

文書発送の経費節減を

質疑 役場の文書発送は、経費節減のため郵便使用を減らし、行政区長ルートでの配達を増やすよう取り組んでいるが、16年度の取組状況と節減効果はどうだったのか。

答弁 総件数を減らすために大口は一つの梱包でまとめ発送をしたり、行政区長さんによる配達を大幅に増やすなど確実に取り組みを強化しております。



行政区長宛て文書を整理

道路維持・側溝改修の实情は

質疑 現在、道路の修理側溝の改修はどのぐらい要望され、またどのぐらい残っているのか。

答弁 平成16年度におきましては、苦情・要望件数は445件です。すべて職員が現地で立会い、また

苦情を寄せていただいた方ともお会いすることにしています。445件のうち81・5%が処理済で、異常なしを差し引いて未処理が63件、14・2%の状況になっています。



排水が流れない側溝

小学校の安全施設の整備は

質疑 小学校の安全という点に関して、施設の整備状況はどのように考えているのか。

答弁 施設面は、まだまだやるべきことがたくさんあります。ポケットベルは、全児童に持たせる

方向で現在進めています。そのほか、玄関ブザーを取り付けるとか、可能な限り学校でできることは継続的にやっておりますし、今後も鋭意努力させたいと思っております。

職員のノウハウの継承は

質疑 団塊の世代が定年を迎える時が2年後に到来し、柴田町役場でも職員不補充方針も重なって今後10年間で大量に職員が退職する。これにより、仕事のノウハウ等の継承が懸念されるがどう考えているのか。

答弁 ベテラン職員が持ち合わせている知識や経験は役所としても大事な財産として、どうしても残さなければならぬと考えています。一般企業等での取り組みも参考に、して対策を講じてまいります。

駅のコミュニティプラザの活用は

質疑 コミュニティプラザの将来は、どんな使い方を考えているのか。

答弁 現在、駅の待合室となっており。将来の構想を踏まえながら、

1階のコミュニティプラザを観光案内所ならびに特産物の物産販売という位置づけを考えながら検討していきます。



コミュニティプラザの活用を

議会活性化のため 特別委員会設置

補正予算 一般会計 8,126万増額を可決

財政調整基金積立と11C区集会所新築で5,900万円計上

一般会計

今回の補正は、歳入では地方特例交付金、地方交付税交付金、国県支出金、繰入金、繰越金、町債等の交付額等の金額の確定により増減額を補正計上するものです。

一方、歳出予算の補正は、人件費をはじめ事業費等の一部を補正するものです。歳出の主なものは、財政調整基金の積立で3千

補正予算に対する質疑

500万円、11C区集会所新築2千400万円、じん芥処理費613万円、勤労青少年ホーム費568万円、道路側溝の改良工事2千100万円、船岡小学校バリアフリー化整備、東船岡小学校のバックネット移設工事475万円などが含まれています。歳入歳出それぞれ8千126万円の増額補正となります。

【質疑】船岡小学校のバリアフリー化とは。
【答弁】障害者を受け入れる教育ということで、町も教育の将来構想をふまえ、可能なところから教育環境を整備するものです。工事内容は入口、昇降口、1号校舎と2号校舎の渡り廊下のスロープ化による段差の解消。1号校舎1階廊下の手すり設置と車いす用トイレ改修を予定しています。

【質疑】障害者のレスパイトサービス支援事業とは。
【答弁】これは在宅の障害児者に対する支援ということで、県の補助事業です。いわゆる在宅障害者を支援する一時預かりの事業です。本町の利用する施設は大河原高校前にある「アサンテ」という所です。

【国民健康保険特別会計】補正の主なものは、前年度の決算による繰越金および国庫支出金の実績確定によるものです。歳入は、前年度の決算による繰越金の確定により7千575万円の増額補正となります。歳出の主なものは、医療費の伸びが見込まれることから、保険給付費などの補正を計上しています。



勤労青少年ホーム

老人保健特別会計

今回の補正は、前年度の事業実績による精算です。

歳入は、繰越金、支払基金交付金の追加交付によるものです。歳出は、前年度の実績額確定により、一般会計繰出金などの同額の補正を計上しています。

公共下水道事業特別会計

歳入は、前年度決算による歳計剰余金の繰り越しと、一般会計繰入金金の減額補正です。歳出は、人件費の補正と汚水管理費の修繕料、公共下水道樹設置工事の増額補正です。

介護保険特別会計

今回の補正は、前年度決算に伴う国庫支出金等の精算による補正です。歳出は、給付費の確定による国県支出金の増額補正と、介護保険法の一部改正による平成17年10月施行分の特定入所者介護サービス費を計上するものです。

水道事業会計

今回の補正は、人事異動に伴う人件費および水道料金システム賃借料の債務負担行為を追加するものです。収入的支出は1千427万円を増額し、また、資本的支出は、6万円を減額します。

議会活性化特別委員会

目的

地方分権や国の三位一体改革などの進展とともに、議会は住民の代表機関、意思決定機関として執行機関を批判監視し、政策を立案し、地方公共団体の意思を決定するなど、果たす役割がますます重要なものとなってきました。

そこで、柴田町議会は、その責務を十二分に果たすべく、自らが議会の活性化に取り組み、「住民に開かれた議会」「議会への住民参加」「活発な議会活動」にむけての方策を調査検討し、社会情勢に対応しながら、町民の負託に的確に応えていくことができる議会づくりを進めます。

調査期間

平成18年7月31日まで



委員会のメンバー

委員11名

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 太田 研光 |
| 副委員長 | 佐藤 輝雄 |
| 委員 | 杉本 五郎 |
| 星 吉郎 | 小丸 淳 |
| 我妻 弘国 | 百々 喜明 |
| 舟山 彰 | 森 淑子 |
| 水戸 義裕 | 廣沢 真 |

委員長コメント

議会活性化特別委員会は議員発議により設置されました。地方分権により、住民主役の時代になりました。このことから、議会は住民に開かれた議会を基本とし、様々な活性化方策を検討の上、活発な議会運営を推進していきます。

陳情

柴田町28区船迫集会所駐車場と資材置小屋に関する陳情
陳情者 第28区長 宮城 昭

趣旨

船迫在公民館分館の廃止に伴い、今まで使用していた駐車場と資材置小屋が地主に返還となり、区の集会所の広場と資材置き場がなくなることから、防災や区の集会所のため引き続き地主からの借り上げを陳情するものです。(本陳情は、総務常任委員会に付託されました。)



陳情されている資材置小屋

人事案件

教育委員会委員の選任に同意(再任)
鈴木 清子さん(船岡土手内)

一般質問

問 宮城県は、中学2年生を対象に、平成16年4県で実施された学習テストに参加した。4県の学習テスト結果、宮城県の中学2年生の5教科の平均点は、各科目とも4県平均点より低い点となった。そこで、中学生の成績を向上させることは、中学生の将来を考えると第一の急務と考えるが、町はどう対処するか伺う。

(1) 宮城県の中学2年生が4県の平均点を下回った要因は、

(2) 成績不振に対する学習指導上の対応策は、

(3) 学力向上への保護者等の協力策は、



太田研光議員

A

少人数の指導で学力向上を目指す

Q

中学生の学力向上を



中学校の授業風景

答 滝口町長 教育方針として、人間の尊厳と個性の尊重を最優先に取り組んできました。成績がすべてでないにもかかわらず、同条件でテストを行えば、より良い点数が出るようなことはやっていかねばと思っています。

答 太田教育長 (1) 家庭学習の習慣化がなくな

ったこと、子供たちの勉強意欲もなくなってきたことです。また、テレビゲーム等で睡眠時間の不足もあげられます。

(2) 少人数の指導・習熟度に応じた指導をします。

(3) 家庭に対しては、寝坊して遅刻や学校での居眠りをしないよう要望します。

問 3町合併が破綻し、自立していく柴田町の今後の道すじを明示するのは18年度予算である。その予算編成方針を伺う。

(1) 新栄通線は予定どおり17、18年度で完成させるのか。

(2) 二本杉町営住宅建替計画は今後どう進めるのか。

(3) 図書館の建設については新市建設計画に明示されたが、3町合併が破綻した今、柴田町としてはどうするのか。

(4) 町民に今後の長期シミュレーションを示す責任がある。財源確保など説明願いたい。

(5) 強い要望の出ている信号機の設置について、町の今後の対応は。

答 滝口町長 (1) 今年年度中に67%進め、18年度中には完成予定です。年度中には完成予定です。

(2) 財政難、国の補助金の見直しで、計画どおり進んでいないが、18年度には、第2工区の第2棟の建設に着手できるように検討を重ねています。

(3) 厳しい財政状況で建設には時間がかかるが、実現に向けて道すじを探りながら前向きに取り組みたい。

(4) 財源確保は厳しく、18、19年度も財政運営は難しい。経費削減、事業のスクラップアンドビルドが必要です。

(5) 警察には年2回要望しています。警察も並松地区を重点に県公安委員会に申請しています。

Q 18年度予算編成方針は



舟山 彰議員

A 新栄通線は18年度完成



新栄通線予定地

一般質問

あなたにかわって

聞きました!!

Q & A



一般質問は9月5・6日の2日間行われ24項目について12人の議員が質問しました。質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。

議員活動の1年は

平成16年はこのような活動をしました

平成16年活動内容		
1月	議会広報特別委員会	平成16年の議員一人あたりの活動日数(平均)は79日でした。 ○本会議 (23日) ○各種委員会 (24日) ○全員協議会 (12日) ○研修会参加 (8日) ○公的な会合 (4日) ○公的な行事 (8日) このほかに、地区や各種団体の行事などへの参加、住民からの苦情・要望への対応や会派の活動などがありました。
2月	各常任委員会	
3月	第1回定例会 (本会議 7日) 予算審査特別委員会 (4日)	
4月	第1回臨時会 (本会議 1日) 議会広報特別委員会	
5月	各常任委員会	
6月	第2回定例会 (本会議 4日)	
7月	議会広報特別委員会	
8月	第2回臨時会 (本会議 1日) 各常任委員会	
9月	第3回定例会 (本会議 6日) 決算審査特別委員会 (3日)	
10月	議会広報特別委員会	
11月	各常任委員会	
12月	第4回定例会 (本会議 4日)	

問 平成16年11月、小学校5年生および中学校2年生を対象に宮城、岩手、和歌山、福岡の4県が参加して学習状況調査がありました。

小学校は国語・算数・社会・理科の4教科。中学校はこれに英語を加えた5教科で、夏休み前までに学習している同一の設問内容でした。

(1) その結果、4県で最下位クラスにあると見てよいのではないかと指導方法に問題がある



我妻弘国議員

Q 4県で最下位クラスの学力をどうする

A さらに学習意欲、指導方法を検討



小学校の授業風景

つたのではないかと考えるが、どこに問題があったのか。

(3) さらに、今後の指導方法を伺います。

答 太田教育長 (1) 指摘のとおり4県で最下位クラスと考え、重く受けとめます。

(2) 児童・生徒の学習目標を持つ気持ちの欠如、勉強意欲の不足が挙げられます。また、地域全体に勉強に対してのんびりとしたところがあるように思われます。

(3) 家庭の協力を得ながら、規則正しい生活習慣を定着させてもらい、家庭学習、基礎学力の向上に力を入れていきます。

さらに、子供たちの学習に向き合う態度の指導、勉強の楽しさがわかる授業の工夫を進めていきます。



杉本五郎議員

Q 町の憲法づくり7人の委員に任せっきりではないのか

A 素案をつくるための環境づくり

問 (1) 昨年6月、7人の委員による住民自治基本条例検討委員会が発足したが、本来この種の重要案件は、その理念や理想とともに骨格を示し、議会で議論を深めた上で、必要に応じ住民に意見を求めるのが筋ではないか。

(2) また、長期的な町づくりの指針としては、長期総合計画があり、ある意味ではまちづくりの憲法的役割を果たし、すでに17年も前から住民自治やコミュニケーションを提唱している。それを今さらのように条例づくりを叫ぶのはなぜか。

(3) むしろ町づくりのパートナーたるNPOや町内会などの地域団体の支援こそ急ぐべきでないか。

答 滝口町長 (1) 住民自治基本条例検討委員会に条例づくりを委ねたのではなく、素案を作成するための環境づくりをしてもらうものです。

これは、町づくりの方向性をみんなで決め、それを文書化し、その過程を重要視するもので、条例づくりは今後、熱意のある方に参加していただく

きます。その際は公募要綱などを作成し、公正・公平で偏りのない人選に心がけ、多様な人材が、住民、企業はもちろん、行政、議会など各層から参加できるように検討していきます。

住民と協働の地域づくりや団体支援活動と条例づくりは並行して進めていきたいと思っております。



住民自治基本条例検討委員会



小丸 淳議員

Q 国際理解の教育テーマに姉妹都市の活用を

A 今後とも国際交流学習を重視する



中国丹陽市の少女たちとの交流

問 小中学生に対する国際理解教育は大変重要である。本町と中国丹陽市とは姉妹都市でもあり、中学校の総合的な学習の中での取り組みについて伺う。

(1) 現在、町内中学校で総合的な学習に中国、韓国やアジアに関する国際理解教育を取り入れている学校はあるのか。

(2) 姉妹都市の交流関係を生かし、中国を国際理解教育のテーマにすることで、身近に興味、関心

を呼び、交流と教育、両面の相乗効果が期待できるのではないかと。

(3) 総合的な学習で、ITを活用した情報教育と国際理解教育を組み合わせたらどうか。

答 太田教育長 (1) アジアに関する国際理解については、社会や道徳という領域でふれ、総合的な学習では重点的に行っておりません。

(2) 昨年は、小中学校に丹陽市を紹介するポスターを展示しています。

その際、槻木中学校では学級活動で丹陽市についてふれています。

小学校では6年生の社会科で中国について学習しています。理解を深めるため丹陽市について取り上げる学校もあります。今後丹陽市との関係を国際交流学習で重視していきます。

(3) 現在やっています。遠い将来を見た時、非常に重要と考えています。



大坂三男議員

Q 介護予防のための「運動指導員」の養成を

A 年次計画により養成

問 近年の高齢化による医療費や介護費用の増加は国や町の財政を著しく圧迫している。そこで質問します。

(1) 町はこの問題について、どう対処していくのか。

(2) 高齢者が介護を受けないで、自立して健康で活動的な状態で生活できる期間、いわゆる「健康寿命」を少しでも延ばすために全町的な取り組みが必要と思うがどうか。

(3) 町が健康増進と介護予防のため、専門的に訓練を受けた「運動指導員」を養成し、誰もが気軽に参加できる地域密着型、継続型の健康づくり運動を町ぐるみで行うよう提案するがいかがか。

答 滝口町長 (1) 医療・介護給付費削減に町をあげて取り組んでいきます。乳幼児期から高齢期までトータルな健康づくりが大事と考え、一次予防にさらに力を入れていきます。

(2) 18年度からスタートする地域包括センターを拠点として、介護予防に努めていきます。各地区に健康推進員を配置し、集会所等で身近な健康づくりに取り組みます。

(3) 年次計画を立て「運動指導員」の養成を図っていきます。地区の健康推進員と連携し、介護予防運動、高齢者の健康運動、介護予防レクリエーション等のモデル地区を選定し実施していきます。



ころばぬ先の元気塾(仙台大学)

一般質問



広沢 真議員

Q 大規模地震に備え
防災計画の見直しを
A 現状を踏まえて順次改善
していきます

問 大規模地震に備え防災計画の見直しについて伺う。

- (1) 役場庁舎が被害を受けた時、代替施設をどうするか。
- (2) 代替施設の非常用設備はどうか。
- (3) 老朽化している指定避難所をどうするのか。
- (4) 避難所改善の現状は。
- (5) 災害時の帰宅困難者をどうするのか。
- (6) 災害時の救急医療体制は。
- (7) 災害ボランティアの受け入れはすべて社会福祉協議会が行うのか。
- (8) 町としてボランティアをどう受け入れるのか。

これらを踏まえて柴田町地域防災計画の見直しは考えているのか。



倒壊家屋からの救出訓練

答 滝口町長 (1) 槻木文化センター、柴田町コミュニティセンター、東船岡コミュニティセンターを代替施設とします。
(2) 設備は庁舎と槻木事務所に発電機、槻木事務所に無線を配置しており、今後更新を図ります。
(3)(4) 老朽化した避難所は見直しをします。
(5) 帰宅困難者はJ、R、町内企業、学校と連携して避難をすすめます。
(6) 救急医療は消防、自主防災組織、医療機関と連携し、混乱せず取り組みよう努力します。
(7)(8) 災害ボランティアは町災害対策本部でも受け入れします。
地域防災計画は新計画を早急に作成します。

Q 住民参加型
ミニ市場公募債
の導入を



白内恵美子議員

A 財政力をつけた段階で導入を検討する



船岡中学校体育館

問 宮城県は昨年、高校整備事業としてミニ公募債を発行し大好評でした。来年度から自治体は国の許可なしに地方債を発行できます。ミニ公募債は、資金調達先の多様化に最も有力な手段です。また、ミニ公募債は町が行う借金に対し住民のコントロールが大きく働きます。正しく住民の直接的な行政参画ではないでしょうか。真に住民主体のまちづくりへと大きく飛躍すると考えます。

ミニ公募債を使う事業の第一番目に、船岡中学校体育館の建て替えをあげたいと思います。
災害時の避難場所でもあり、早急に建て替えるべきではないでしょうか。
答 滝口町長 ミニ公募債の最大の特徴は、小規模な自治体でも民間資金を市場から調達し得ること、住民の行政への参加意識の高揚を図ることにあります。学校建設事業などの財源に充てることは、住民にとって魅力に

なっているところです。しかし、問題は償還方法です。満期一括償還が原則であり、年々計画的に償還額を積み立てる必要があります。ミニ公募債を発行するには、それだけの財源を保有しなければ活用できず、現在の柴田町ではそれだけの財力を保有していないことから、財政力をつけた段階で導入を検討したいと考えています。

一般質問



森 淑子議員

Q 学校施設の改修を
どう進めるのか
A 優先順位を決めて実施します

問 8月6日槻木文化センターで、教育長主催の教育振興町民会議が開催され、質疑では保護者からさまざまな意見・要望が出されました。

- それに関連して、私が第2回定例会で一般質問した「一年一度は学校施設の定期点検を」について、その後の状況を伺います。
- (1) 修理の終わった箇所はありますか。
 - (2) 学校施設の建て替え、または大規模改修の予定はありますか。
 - (3) 暖房器具の整備とトイレの改修を優先させるべきと考えるがいかがでしょうか。



最優先の船岡中学校体育館建て替え

答 太田教育長 6月議会で指摘のあった箇所の再点検を行いました。
(1) これまでの修理件数は38件、修理費合計は511万5千915円です。船岡中学校と船迫小学校のストープの購入は9月補正予算で措置しました。
(2) 新長期総合計画後期計画に盛り込み、年次の実施します。建て替えが必要な施設は、船岡中学校校舎と体育館です。大規模改修は槻木小学校改修の残り、船迫小学校です。その中で船岡中学校体育館建て替えを最優先します。
(3) トイレは、改築事業にあわせて効率的に整備します。

Q 白幡橋の
槻木側交差点
に安全対策を



水戸義裕議員

A 県に要望して安全対策を実施します



白幡橋の槻木側交差点

問 白幡橋は昭和13年にかけられ67年にもなる古い橋です。その後幾度となく改修され、現在のような形の橋になりました。橋の両岸は車だけではなく人、自転車も渡る交差点があります。

最近船岡側は町の働きにより改良されたが、槻木側の交差点は危険なままです。
そこで、次の点について伺う。
(1) 槻木側交差点、町道船迫28号線に横断歩道を

設ける考えはあるか。
(2) 河川敷方面に行くため、県道に横断歩道と路側帯を設置する考えは。
(3) 併設の歩道橋の安全対策をどうするか。

(2) 県道を横断して河川敷方面に行くための横断歩道設置も、(1)と同様に道路改良のための要望をします。
(3) 歩道橋を渡る自転車利用者等へ、交通安全のため、事故防止への協力を呼びかける看板設置を県に要望します。

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

我妻弘国 議員

問 自主防災組織は、行政区内に住んでいる災害弱者の避難訓練をどうすすめるか。

答 行政区ごとに実態が異なるので消防署と連携して支援していきます。

小丸 淳 議員

問 中国丹陽市との交流は、財政上の問題を考慮しつつも、継続することが大事ではないか。

答 今後、先方提案の青少年の訪問交流や産業経済交流について気運の醸成を図っていきます。

大坂三男 議員

問 学校図書室の蔵書データのネットワーク化を図り、学校間で貸し借り可能にすべきでは。

答 共有化の有効性の評価は定まっていない。システム導入維持費が確保できることが前提。

広沢 真 議員

問 町職員の中で休暇がとれなかったり長時間過密の労働をしている実態はないか。

答 年次休暇の取得や代休制度などを活用し、過密にならないよう注意しています。

白内恵美子 議員

問 保育所に冷房のない部屋があり、暑い日は蒸し風呂のようです。全室に冷房設置を。

答 3歳以上のクラスには設置していません。健康管理の上からも施設ごと逐次整備したい。

問 6月に改正介護保険法が成立したが、地域包括支援センターはどこまで進んでいるのか。

答 来年4月設置ですが、厚生労働省からの通達が入らず、案の段階で対応している状況です。

問 発見者による通告義務をはじめ、改正DV法・児童虐待防止法の住民への広報・啓発を。

答 町民が虐待とは何か、暴力とは何かを理解する必要があります。啓発・趣旨徹底を図ります。

森 淑子 議員

問 生涯学習の場である図書館・情報プラザの一日も早い建設が望まれます。具体化はいつ。

答 図書館研究会の報告書をもとに、筋道を探りながら前向きに取り組むたいと考えています。

水戸義裕 議員

問 国民健康保険証は1世帯1枚から1人1枚のカード化が進められている。導入の考えは。

答 県統一様式で実施されているがカード化はどの自治体も国保財政が厳しく、町も実施困難。

問 鷺沼排水路基本調査後の西住地区雨水排水対策は、今後どのような効果が期待できるのか。

答 柴田町と大河原町で費用負担し取り組みますが、多額の費用と期間を要する事業です。

有賀光子 議員

問 災害時に使用する移動式簡易トイレを年々5基位ずつ準備し保管しては。

答 時間をいただきながら検討させていただきたいと思います。

佐藤輝雄 議員

問 今回の組織再編の意図と目的はどこにあるのでしょうか。

答 自立戦略に沿っていきます。再編は議会の行政改革特別委員会の提案に沿ったものです。



菊の祭典

問 アスベスト問題は、30年以上前から社会問題になっており、昭和50年代後半に使用自粛の通達が出され、良識ある業者は使用を中止した者も見受けられたが、まだまだ徹底されなかった。柴田町でも公共施設に使用されたことがあったと思います。大丈夫でしょうか。



太陽の家(旧館)ボイラー館

答 滝口町長 今年6月29日以降、大手機械メーカーで従業員79名が死亡し、工場周辺にも患者が出ていたことが発覚し、健康被害について懸念が高まった。これを受けて、国・県の指導を待たずに、7月に建築物の壁、柱、天井等に吹きつけられた

ものを目視と設計書で再確認しました。その中で、昭和51年と55年に建築した太陽の家(旧館)のボイラー室で、吹きつけアスベストと見られるものを確認したので、アスベスト検査を実施するための委託費を補正予算に計上しました。



有賀光子議員

A

太陽の家ボイラー室のアスベスト検査を実施予定

Q

アスベスト問題、本町は解決済みか

問 柴田町の建物で一番古いものは、昭和40年代に建てられた「船岡中学校」、「柴田町民体育館」、「柴田町役場庁舎」と他の11施設が残っています。雨漏りしている施設、さびたトタン屋根の児童館、見るからに古そうな建物等です。

答 滝口町長 財政措置については、縦割りの制約があり一元化はできませんが、事務事業の執行面で流れの悪い面のありことから、維持・管理・補修の業務一元化を検討したいと思います。西住児童館の屋根補修は、他の緊急性の補修優

先のため、年次計画で早い時期に対処します。太陽の家の屋根損傷と雨漏りは応急措置で対応中です。今後、指定管理者制度移行に伴い、運営組合との協定書で維持管理を含めた修繕の負担区分を明確化し、他の施設も同様にしていきます。今後、限られた財源の中で、事業の取捨選択が政治判断だと思います。

Q どうなっている、柴田町施設の維持管理



佐藤輝雄議員

A 事業の執行面で一元化を検討する



老朽化している町施設(柴田町公民館)

議会からの指摘事項
(所管事務調査報告書より抜粋)

常任委員会レポート

各常任委員会は法令に基づき年に4回、各課の仕事
を調査しています。

建設

日時 7月28日

調査内容

西住地区(鷺沼排水路周辺)・熊野排水路・三名生(支線)排水路・町道中名生2号線及び阿武隈急行線との交差点付近の交通状況を現地調査



西住地区の排水路を調査

(建設課) 西住地区の排水問題は、町が鷺沼排水区雨水計画を策定中で、今後対策を講じていくものと思われる。抜本的な水害対策には国県等関係機関の果たす役割は非常に大きく、町として当該関係機関への請願や陳情を行う等、なお一層努めること。

熊野排水路・三名生(支線)排水路沿いの道路と、町道中名生2号線および阿武隈急行線との交差点(ガード下)付近の道路改良は、地元住民より橋の設置も含めて要望がある。まずは、押しボタン式信号機の設置等の安全策を講じること。

西住地区の水害対策を
早期に

産業経済

日時 8月1日

調査内容

白石川堤防・シルバー人材センター・市民農園を現地調査

(商工観光課) シルバー人材センターは、関係者の地道な努力と会員の協力により、運営面においてはおおむね順調に軌道にのってきているものと思われる。しかし、収支状況においては未だに国の補助は実現していないので、町も積極的に支援すること。

シルバー人材センターへの
国の補助を早期に

11月にはさくら船岡大橋が開通予定であり、既設の柴田大橋とその間の両岸の土手を白石川堤防回廊型観光ルートとして整備すれば、安全安心な健康づくりの場、有為な観光資源として活用できる。関係機関と調整を図ること。



シルバー人材センターの調査

文教厚生

日時 7月27~29日

調査内容

保育所(3カ所)・老人憩の家羽山荘・体育館(3カ所)・ごみ処理施設(3カ所)・し尿処理施設を現地調査



船岡保育所の調査

(福祉課) 船岡保育所の建て替えは、本年度に実施設計を行うことになっている。基本設計時には、保育士の意見も取り入れており、新しい保育所が細部にわたって真に利用しやすい施設となるよう、今回も保育士の意見が反映されるよう配慮すること。

現場の意見を反映して
船岡保育所の建て替えを

(社会教育課) 柴田町民体育館は、施設の老朽化や雨漏り等により、本来の機能を十分果たしていない。また、災害時には避難所となることを考えれば、早期の大規模改修、若しくはPFI等新たな手法も取り入れた建て替えについて検討すること。

総務

日時 7月15日

調査内容

町有未利用地(5カ所)・北船岡集会所・槻木事務所を現地調査

(財政課) 北船岡集会所は老朽化が激しいため、来年度以降整備に着手する予定である。この施設は、複合型で、本町における地域コミュニティのモデル的事業となる。全体計画である北船岡地区整備計画に基づいて、住民の要望を考慮しながら着実に整備すること。

住民の要望にそった北船岡
集会所の整備を

備すること。町有地の賃貸に際しては、今後も町の条例に基づき適正な料金の設定を図ること。また、町有未利用地の売却促進のため、取り付け道路の設置等も含めて、購入者が購入しやすいよう環境整備を図ること。



町有未利用地の調査

あなたの一言



大城 澄恵 さん
(船岡中央1丁目)

未来へ向けて

●柴田町に住んで良かった点は

東京から柴田町に越してきて8年程になります。海、山、温泉など近場があるので、子どもを連れて出かけるのにいいですね。自然も豊かなので気に入っております。桜の時期は町がにぎやかでいいです。

●柴田町のどこが好きですか

四季の移りゆく景色が素晴らしい、特に春の桜と蔵王の雪景色は大好きです。

●町に何を望みますか

公園の整備、遊具の充実です。子どもからお年寄りまで安心できて、住みやすい町づくりを期待しております。

●議会だよりを読んでいますか

毎回読んでおりますが、一般質問で議員の方がどんな質問をしているのか、大変興味深く拝見しています。そして、町長がどう返答し、どう対策されていくのかが気になります。ぜひ、機会を見つけて議会の傍聴したいと思っております。

●議員に望むことは

町民の声を聴き、敏速な対応で精力的に取り組んでいただきたいと思えます。柴田町民の代表として、もっと住みよい町づくりをお願いしたいです。

声の「議会だより」を貸し出しています



皆さまに親しまれる「議会だより」として、目の不自由な方やお年寄り、子どもたちに親しんでいただくため、柴田町朗読ボランティア「結」の方々のご協力を得て、カセットテープ版、声の「議会だより」の貸し出しを今年8月からはじめています。今回の議会だより第110号は、11月20日以降の貸し出しとなります。どうぞ、お気軽にご利用下さい。

【貸出場所】

柴田町議会事務局

槻木事務所

柴田町社会福祉協議会(柴田町地域福祉センター内)

【問合せ先】柴田町議会事務局 ☎55-2136

編集後記

街に金木犀の香りが漂い、秋本番を感じます。今回は9月定例会の内容をお伝えしました。

8月に東京で「町村議会広報研修会」があり、広報委員全員で参加しました。全国の「議会広報紙」の編集担当者が集い、議会と住民とのコミュニケーションの大切さと、その手段としての「議会広報紙」の重要性について学んできました。

「見出しが大事」、「わかりやすい表現で」、「写真をなるべく多く」など大変参考になりました。

なんといっても「議会だより」は住民のためのもの。これからも、より多くの皆さんに読んでいただけるような紙面づくりに努力してまいります。

広報委員 大坂 三男

お待ちしております!

ぜひ、議会の傍聴を!!

第4 回定例会は
12月9日(金) 午前10時開催の予定
 一般質問は
12月12日(月)・13日(火)の予定
 詳しくは町議会事務局 (☎55-2136) へお問い合わせ下さい。